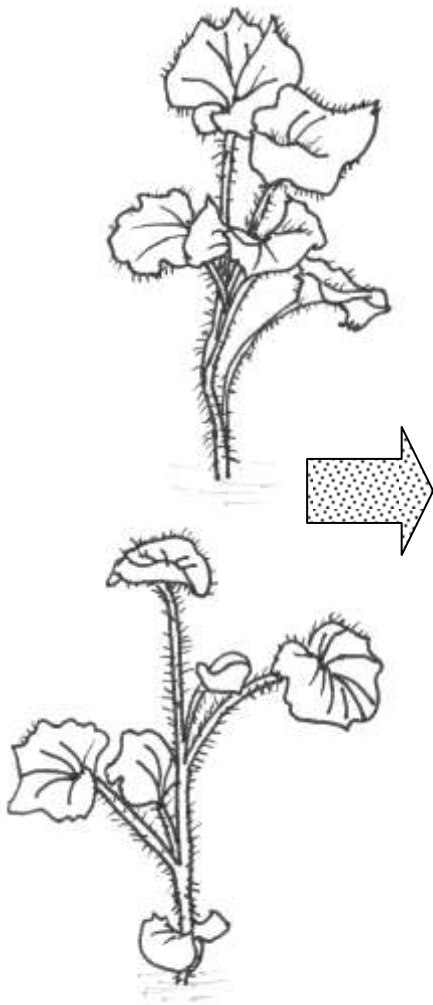


花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく2

国立市立国立第七小学校

平成27年1月20日 NO.75 (175)



セイヨウサクラソウ (*Primula malacoides*)

花ちゃん 「これは、サクラソウですね。モンタ^{はかせ}博士。」

モンタ博士 「そのとおりだよ。サクラソウはね、プリムラともよばれているんだ。去年の^{きょねん}
7月ころに種^{たね}をまいたんだ。とっても小さな種^{ちい たね}でね、それから、約6カ月で
こんなに大きくなったんだね。植物^{しょくぶつ}の成長^{せいちょう}って本当に素晴らしいね。植物^{しょくぶつ}
の生命力^{せいめいりょく}にはおどろきだね。」

オー君 「あ！ぼく、思い^{おも}だしました。9月ころみんなで、サクラソウの苗^{なえ}を鉢^{はち}にうつ
しかえましたね。」

モンタ博士 「そうだね。その後^{あと}は、校舎^{こうしゃ}の北側^{きたがわ}で育て^{そだ}てたんだよ。もちろん、お水^{みず}をきらさ
ないようにしてきたんだよ。」



花ちゃん 「^{うえ} ^{しゃしん} ^{せんしゅう} ^{きんようび} 上の写真は、先週の16日の金曜日のようにですね。」

モンタ博士 「そうだよ。1年生から4年生までの『お花係』さんに^{てつだ}手伝ってもらってね、
それぞれの^{きょうしつ} ^{はこ}お教室まで運んでもらったんだ。」

オー君 「それで、^{きょうしつ} お教室に、サクラソウがいっぱいなんですね。」

花ちゃん 「^{ひとりいちはち}一人一鉢というのが、とてもうれしいですね。」

モンタ博士 「みんな！大切^{たいせつ} ^{そだ}に育ててね。お水は土^{みず} ^{つち}がかわいたら少しあげれば大丈夫だよ。」

オー君 「わかりました。^{だいじ} ^{そだ}大事に育てますね。」

花ちゃん 「でも、もし、お花^{はな}がかれちゃったりしたらどうしよう。」

モンタ博士 「^{しんぱい}心配しなくてもいいよ。他^{ほか}にも、まだまだたくさんのお花の鉢^{はな} ^{はち}があるからね。」

オー君 「^{はな} ^さ花が咲くのが楽しみですね。」

花ちゃん 「たくさん^{はな} ^さのサクラソウのお花が咲けば、^{きょうしつ} ^{あか}教室が明るくなりますね。」

オー君 「それから、^{はな} ^さ花が咲けば、みんなの^{こころ} ^{やさ}心も優しくなるだろうね。」

モンタ博士 「そうだね。そう^{はかせ}なってくれると、モンタ博士もうれしいよ。」

花ちゃん 「でも、どうして1年生から4年生までなんですか。」

モンタ博士 「^{ほんとう}本当はね、^{そつぎょうしき} ^ま ^あ卒業式に間に合わせようと思ったのさ。1年生から4年生は
^{そつぎょうしき} ^{さんか}卒業式に参加しないだろう。それで、その代わりに、サクラソウをいっぱい
^さ咲かせて、^{そつぎょう} ^{いわ}卒業をお祝いしたかったのさ。でも、ちょっと早く咲きすぎちゃ
^{しっばい} ^{せいこう}ったね。失敗は成功のもとだから、来年はうまくいくといいね。それから、
^{ていど} ^さある程度咲いたら、^も ^{かえ}持ち帰っておうちに人にも見せてあげるといいよ。」